

教育・研究等業績一覧

履 歴					
フリガナ	コジマ マミ	所 属	保育学科		
氏 名	小嶋 麻美	身 分	助教		
学 歴					
年 月	事 項				
1991年3月	北海道立深川西高等学校 卒業				
1991年4月	武蔵野音楽大学声楽学科 入学				
1995年3月	武蔵野音楽大学声楽学科 卒業 学士（音楽）取得				
1995年4月	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻 入学				
1997年3月	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻 終了 修士（音楽）取得				
2003年9月	イタリア トリノ音楽院 Accademia della voce オペラコース 留学				
2005年9月	イタリア フィレンツェ音楽院 声楽科 留学				
職 歴					
年 月	事 項				
1998年4月	学校法人サンシャイン学園 東京福祉保育専門学校 専任教員として勤務				
2001年3月	学校法人サンシャイン学園 東京福祉保育専門学校 退職				
2009年4月	株式会社カルチャー 音楽非常勤講師 合唱指導・ボイストレーナー・イタリア語講座担当				
2020年3月	株式会社カルチャー 退職				
2012年4月～	LA VOCE 音楽教室 主催				
2024年4月	拓殖大学北海道短期大学 保育学科助教として勤務				
教 育 業 績					
1 担当授業科目（2024年度）					
科 目 名	出講場所	期別	曜日	時限	備 考
音楽表現研究Ⅲ	リズム室	前期	水	3	
音楽表現研究Ⅳ	リズム室	後期	金	3	
保育内容Ⅴ〔音楽表現〕	クリスタルホール	後期	水	3	
ピアノ表現Ⅰ	ML 教室	前期（通年）	木	2	担当者複数
ピアノ表現Ⅰ	ML 教室	後期（通年）	木	2	担当者複数
ピアノ表現Ⅱ	ML 教室	前期（通年）	水	2	担当者複数
ピアノ表現Ⅱ	ML 教室	後期（通年）	水	2	担当者複数
保育実習指導Ⅰ（1年生対象）	201	前期（通年）	金	3	担当者複数
保育実習指導Ⅰ（1年生対象）	302	後期（通年）	火	3	担当者複数
保育実習指導Ⅰ（2年生対象）	201	前期（通年）	金	4	担当者複数
保育実習指導Ⅰ（2年生対象）	101	後期（通年）	金	4	担当者複数
保育実習指導Ⅱ	302 他	前期	月	1	担当者複数
保育実践演習	リズム室	前期（通年）	月	4	担当者複数
保育実践演習	リズム室	後期（通年）	火	4	担当者複数
領域音楽表現	クリスタルホール リズム室	前期	木	4	
特別研究（幼児音楽）	リズム室	前期（通年）	金	2	
特別研究（幼児音楽）	リズム室	後期（通年）	金	2	

<p>2 現行授業の目標と教育効果及びそれに対する自己評価</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>1) 現行授業の目標と教育効果 現行授業の目標としては、実習や就職に役立つ実践的な力を育むことを主としている。現場での必要とされる知識や技術を具体的に提示し、個々人の課題を明確にしたうえでそれぞれの課題に取り組むような指導に取り組んでいる。 特に「音楽表現」における授業では、フィールドワーク活動の後に必ずフィードバックを行い、活動の改善点を学生が自ら振り返り、改善点を明確にしたうえで次の活動につなげることが出来るよう心掛けた。課題について掘り下げ、グループで相互理解を深めることができるよう取り組んでいる。</p> <p>2) 自己評価 現場での実践につなげることを常に明示することを心掛けたことで、学生が具体的な目標を持ちやすく、積極的に取り組むことが出来たと考える。 フィードバックでは、実践後に理解が追いつかない状態が見受けられ、十分な授業時間の確保を行えるよう改善すべきであると考えます。</p>
<p>3 学生による授業評価も踏まえ、教育改善への取り組み</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>1) 現状の説明 学生との意思疎通がスムーズであったため、要望をくみ取りながら授業を臨機応変に組み立てて行った。実践的な学習内容であったため、学生のニーズにも応えられていたと考える。</p> <p>2) 改善への取り組み 実践を念頭に授業を進めたが、技術的な難しさから、集中力が保てない場面も見受けられた。学生がより主体的・意欲的に取り組める様、ハードルを上げすぎることなく、且つ興味を持てる授業内容を提示することや、個人練習のモチベーションが上がるような導き方を改善していきたい。</p>
<p>4 教科書、教材の作成状況</p> <p>(記述式：300字以内)</p>	<p>教科書は作成せず、教材作成を行っている。 毎回の授業で使用するプリントの作成を行っており、要点をまとめて理解しやすくする工夫や、将来実践の場で直接資料として役立つよう、楽譜やコードネームリストなどをまとめて配布している。 「こどものうた」曲集は学生が各自持っているが、未掲載曲や流行の新曲の楽譜など、実際に保育現場で人気のものを集めて、授業毎に提供している。</p>
<p>5 学生の指導（課外活動・厚生補導等）</p> <p>(主要10件以内)</p>	<p>.....</p>
<p>6 その他</p> <p>(主要5件以内)</p>	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>研 究 業 績</p>	
<p>1 研究分野・活動</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>研究分野：「保育現場における音楽活動の調査及びこどもの表現の為の歌とリトミックの重要性についての研究」 保育の現場では教育を目的とした様々な音楽活動が行われている。園の教育方針や時代に合わせて活動内容も流動的に変化し続けている。フィールドワークを通して現場での音楽活動を取材することで、より良いニーズを理解し、教育的効果を図り、実践につなげていくための研究を行う。 わらべうたをはじめとする伝統的な日本文化としての音楽から流行のアニメソングまで、現場で取り入れられる音楽は多様である。インターネットの普及により子どもたちを取り巻く音楽環境も大きく変化している。音楽を通して、楽しむ中にも子どもの豊かな感性やしなやかな身体を育むための効果的な取り組みを研究することを目標としている。</p>
<p>2 研究課題 (今後の展開・可能性を含む)</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>この目標を達成するため、楽器の活用やリトミック活動の有効性を取り入れることを研究課題とした。ハンドベル、トーンチャイム、ウクレレ等の比較的演奏が容易な楽器を現場に持ち込み、園児や利用者とのコミュニケーションに活用した。またリトミックスカーフ等を活用し、様々な音楽表現に役立てるリサーチや試みを行った。 保育・幼児教育現場での取材を引き続き行いながら、加えて障がい者施設等においても現場での音楽活動に取り組み、新たな音楽活動や、子ども、利用者の音楽療法を含めた「音楽表現」を引き出す技術について研究を深めていきたい。</p>

3 研究助成等 (主要 5 件程度)	(1) 文部科学省科学研究費 なし				
	(2) 学内 なし				
	(3) 学外 なし				
4 資格・特許等 (主要 3 件以内)	中学校教諭専修免許状 (音楽) 取得 (1997 年 3 月)				
	高等学校教諭専修免許状 (音楽) 取得 (1997 年 3 月)				
著書、学術論文、作品等の名称 (主要 15 件以内)	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行又は発表 雑誌等又は発表 学会等の名称	要 約	
【リカレント教育プログラム】第 28 回保育セミナー2024：気になる子どもの発達理解とその支援—こどものあたたかい関係を育むヒントとは！？—	共著	2025 年 3 月	「拓殖大学北海道短期大学研究紀要」第 5 号	第 28 回保育セミナー2024 の報告「気になる子どもの発達とその支援—子どもとのあたたかい関係を育むヒントとは！？」講師及び本学保育学科教員がそれぞれ分担、執筆を行った。「V.ワークショップ実践者交流会：しゃべり場」担当。	
研究業績 (過去 3 カ年分)				国際的活動 の有無	社会的 活動の 有無
著作数	論文数	学会等 発表数	その他		
0	0	0	0	無	有
学 内 運 営 業 績					
1 役職、各種委員会等 (主要 10 件程度)	2024 年～2025 年 3 月		広報委員会 委員		
	2024 年～現在		FD 委員会 委員		
	2024 年度		第 41 回拓大ミュージカル「ヴォイストレーニング」担当		
学 外 活 動 業 績					
1 本学以外の機関(公的機関・民間団体等)を通じた活動 (主要 10 件程度)	2024 年 4 月～現在		全国保育士養成協議会 会員		
2 学会・学術団体等の活動 (主要 10 件程度)	北海道二期会会員				
	北海道国際音楽交流会ハイメス会員				
	G. コスタンツォ・イタリアオペラアカデミー協会会員				